

# ASK ニュース

Vol.0153

2015年5月11日(月)

担当：MS事業部 松村

〒460-0002 名古屋市中区丸の内 3-22-21

損保ジャパン日本興亜名古屋ビル1F

ASK 税理士法人

TEL 052-971-1122 FAX 052-971-4488

## ドローンの活用

### はじめに

「ドローン」と聞いて、何をイメージしますか？

ドローンとは、無人の飛行機の総称で、いわゆる無人機を言います。10メートルを超えるものからラジコンの玩具まであります。

また、最近では首相官邸の屋上の事件や、初臼ノス敷地内への墜落事件を知っている方が多いでしょう。

### 開発目的

本来の開発目的は、敵地偵察など軍事目的でした。しかし、今では商業用や玩具まで広がっています。

### 玩具の問題

玩具としては、町の電気屋さんで手軽に入手が可能ですが、首相官邸の屋上にあったものも市販されているドローンでした。このように手軽に入手でき、自由に飛行が出来てしまいますが、日本の現法律では、ほとんど取り締まれないようです。今後、日本も含め世界各国で、飛行の制限など決まっていくでしょう。

### ドローンが秘める7つの可能性

商業用の使い方によっては、アメリカ国内の経済効果が2025年までに8兆円と試算されています。

1、災害救助

2、自然環境のリサーチ

人が踏み込めない場所での状況把握に役立ちます。

3、報道活用

報道へ、カメラマンがなくなります。

4、スポーツや映画の撮影

手軽に迫力ある空撮が出来ます。

5、商品配達

Amazon では、商品配達を検討しています。

6、3次元の空間を利用した広告

チラシを引っ掛けて街中や高層ビルの間を飛ばせば、人の目に留まることは間違いないでしょう。

7、ドローンを使ったレースや競技

### おわりに

この様に商業用では大きな可能性が見て取れますが、現状では安全面でまだまだ問題があります。

将来、注文した商品が30分で自宅に届く日も遠くないと思います。

